

令和元年度

2月 幼稚園だより（年長）

神戸市立遊喜幼稚園



あやとり教え合い

<今月の目標>

友達と役割分担をしながら劇遊びに取り組み、
みんなでやり遂げる充実感や達成感を味わう



雨あそび

今月は阪神淡路大震災について学ぶ機会をもってきました。

話や絵本を聞く中で「怖かったろうな」「また地震来たらどうしよう」など考えていました。経験したことでなくても、その場での感情を想像する力を大切に、震災があったことを忘れずに育ってほしいと思います。

「もう一回やりたい!!」「手はお膝!!」

「今日は沢山とるぞ!」絶対一人では楽しめない遊び・・・カルタです!

「カルター一緒にしよー」「いいよー」。やりたいときには、友達を誘うことから始まります。

カルタはもちろん勝負です!「今、僕の方が早かった!」「私やで!」と争っていても、周りの友達が「〇〇ちゃんやで」と判定することも。“自分の名前の字は狙っておく”“目の前の札は覚える”などの工夫も見られます。驚くほどのスピードで取る姿からは友達からも「おお!」と声も上がります。白熱するだけに、負けたら悔しいです。「もう一回しよう」とどんどん上達していきます。「この友達は強いな」というのがわかってきて、真っ向から勝負を挑むために誘うこともあります。**(数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚)**

文字に興味をもっているこの時期、力を出せる遊びを通して、友達との真剣勝負を楽しんでいきます。



「のびろ!如意棒!!」

“そんごくう”のお話の中で遊ぶことを楽しんでいます。色々な技を使うことができるそんごくうは魅力たっぷりです。まずは仙人の元で、修行に励みます。筋斗雲(きんとん)に乗ったり、化ける術や分身の術を習ったり・・・。化ける修行は、リスやネズミから始めます。「ワシになりたい!」「空を飛ぶものになるのは難しいぞ!」と上達していきました。気を抜くと「そんごくうに戻っちゃった!」とそんな失敗も・・・。絵本の絵を見てよくわかる分身の術は、自分たちでそれを表すにはどうすればよいのかグループごとに表現を考え合います。戦

いの修業で、相手に全く怯むことなく、習った術を次々と使いこなして、こてんぱになるまでやっつけていく姿は、まさに「俺様がそんごくうだ!」と言わんばかりでした。**(豊かな感性と表現)**

自分の力だけを信じていたそんごくうが、仲間と出会い、仲間を信頼して力を合わせるできるようになる成長を、自分たちに重ね合わせて、楽しい劇遊びにしていきたいと思います。



☆欠席連絡は8:15~8:25
にしてください。(8:30より
職員打ち合わせをしています)
☆第19回神戸っ子アートフェ
スティバルに、“遊喜幼稚園ミ
ニチュア”を出品します。ぜひ
県立美術館をご覧ください。
(1/28~2/3)



<今月おすすめ絵本>

「オニの生活図鑑」作・絵ヒサクニヒコ(国土社)
節分が近付いてきました。“鬼は怖い”と当たり前
のように思っていないですか?鬼のことをよく知っています
か?

実は鬼には、山オニと海オニがいるのです。もちろん
生活や習慣もそれぞれです。細かく書き込まれた図鑑に
見入っていました。